



広報

うまじ

第237号

平成19年10月1日発行



ああ!気持ちいい!!

8月9日、馬路村交流センターに元気な赤ちゃんたちが集合しました。やさしいお母さんの手によるベビーオイルのマッサージ初体験です。日々の忙しい育児のひとつときを、楽しみながら交流できたと大好評でした。赤ちゃんたちはたっぷりのスキンシップと愛情に甘えていました。

特集 安田川	2・3
ご長寿おめでとう・金婚式	4
おしどりマラソン大会・熱心に勉強・裸の付き合い復活	5
地震災害に備えて	6
馬路村の歴史と伝説	7
キャリア教育をすすめる	8・9
国民健康保険医療費の状況・健康づくりに向けて	10

目次

Dr.内田のひとりごと	11
ふるさとへの便り・フォト人ウォッチング	12
赤ちゃん万歳・馬路村俳壇	13
カールのフォトエッセイ	14
行事予定表	15
村内あちらこちら・村のできごと	16

安田川

アユ 鮎がおらん!



森を源流に、溪谷や村を流れ、町を通り、巡り巡って海に注ぐ川。土や石、草木や動植物、そして人もその循環の中にあります。この夏を振り返ると「どうだえ?」「いかん。おらん!」というのがアユ漁師たちのあいさつだったと感じました。今年ほど川漁師たちのいない川は、何かしら自然の変化を訴えている気がします。いろいろな面で特に身近な「安田川」をテーマに少し環境を考える機会になればと特集してみました。

感じる変化

毎年、シーズンになると漁師や家族づれでにぎわうところですが、今年はめっきり漁師がいませんでした。昔からの漁師たちにこの安田川の変化を聞いてみると、アユやウナギがおらんかった。

- ・深い淵がなくなった。
 - ・昔はもつと水が多かった。
 - ・アシが増えた。
 - ・水の流れが変わった。
 - ・砂利が多くなった。
 - ・エビやツガニを見なくなった。
- などの声が聞こえてきました。

さまざまな要因

そこで、いろいろな角度から、川の変化やその要因についてとらえてみました。何といっても顕著なのはアユの激減です。毎年、安田川漁協をはじめ、村では相当量のアユの放流を行ってきました。

しかしながら、放せどもアユは増えず、年々増える放流量に反比例して漁獲高は減少しているように感じます。

安田川漁協では、ずいぶん前から冷水病になりやすい琵琶湖を原産とする湖産の稚魚放流を取りやめ、人工ふ化や海産のアユに切り替えていま

す。一説では、冷水病や他河川の病気などを引き込みやすい放流は、個体の遺伝的な要因も加わ

り、アユの増加

につながらないという意見もあります。近年では、産卵場の整備や河川の清掃などに取り組んでいます。身近な生活面では、家庭における合成洗剤の利用をはじめとする生活排水問題などがあります。これらは、栄養過多など水質悪化を招いており、アシの増加につながっているとも考えられています。そのほか、私たちはその利便性と効果を求め、病害虫の駆除や除草に農薬などを使用します。また、土木事業や森林伐採、ダムへの取水などは、土砂流入や水量減少の原因になったとも推測されます。

さらに広い視点では、私たちの近代的な生活が招いている温暖化や酸性雨、雨量の減少などの異常気象、ダイオキシンなどの環境ホルモンが、地球レベルの問題まで関係し

てきているように思います。防災の観点から見ると、川はまさに生き物です。近年みられる大型台風や集中豪雨といったときには、激しい濁流となり、さまざまなものを巻き込みながら、一変して圧倒的な自然の恐怖を感じさせます。

私たちは、安心・安全のため、十分とは言えませんが橋や堤防、コンクリートブロックの護岸などを作ってきました。その場所の歴史を見れば、それらがなぜ必要なのか見えてきたりもしますが、魚道のないえん堤など自然や生態系を無視してきた工法が、問題となっている場合もあります。

後世に残せる本当の姿?

村では七月二十七日、安田川の生態調査を、専門の調査会社にお願いで実施しました。目的は今の安田川の本当の姿を知り、私たちに何がで



きるかを探るためでした。エ
ヤノマキからゆずの森までの間
を潜水夫の方に潜ってもらい、
詳細な調査分析を行いました。
結果は「県内の同様の河川
と比べて魚類の生息量が少な
い」との結論でした。

その原因としては、山林な
どの崩壊による土砂の流入に
より、淵が埋まり魚の休み場
が極端に少ないことであると
の見解でした。

また、この日は折しもの台
風4号の洪水後で大量のアユ
が死んでいました。(調査の
結果、冷水病が原因)

このような現状を解決して
後世に残せる川にするには、
相当な時間と努力が必要とな
りそうです。

取り組み始まる

川の環境改善に必要な取り
組みは何か？を再考しながら、
自然を守る工夫や取り組みも
徐々に始まっています。

八月二十四日、安田川水系
資源保護推進協議会が、役場
で開催されました。この会は
安田川の水資源(水量や水質
など)および水産資源(アユや
アメゴなど)の保護ならびに河
川の浄化と河川環境の保全を
推進していくことを目的とし
て、安田町と馬路村の行政や
関係者で組織しているものです。

本村からは、環境にやさし
い洗剤に重曹を使って女性の
有志が一定期間取り組んでき
た試験結果についての報告も
ありました。

注目の近自然工法

また水産関連では、注目さ
れつつある「近自然工法」を
活用して、土砂の堆積で少な
くなった淵を自然に近い工法
で復元しようとする計画も報
告されました。

激しい流れも注意深く観察
すると、木片やゴミが海へと
渦を巻きながら流される様は
一様でなく、大きな網を使う
すくい漁のポイントには、魚
たちがその身を潜めています。

こういった原理を利用し、従
来の護岸工事と異なり、生態
への配慮がされた動植物の生
息地・生活空間を保全しつつ、
安全を確保するための柳など
の植物を植えた土手や石積み
による水制などを活用する工
法です。



台風による増水



潜水調査中



五味からの眺め



魚のポイント?



そろそろ、アユの
産卵シーズンです。

一方、安田町からは合併処
理浄化槽の設置にあたり、従
来型より環境に配慮し、窒素
やリンなども浄化可能な高度
処理型の合併処理浄化槽につ
いても、町が補助する制度が
紹介されました。この高度処
理型はすでに現在改修中の安
田小学校にも設置され、その
成果が期待されます。

そのほかにも両町村で行っ
ている河川周辺の一斉ゴミ収
集や不法投棄物の撤去などの
活動、看板の設置などによる
啓発活動の大切さも話し合わ
れました。河川の延長が短く、
流域に住む住民も限られてい
るこの川は、取り組みをしつ
かり推進しさえすれば必ず、
水産資源や自然が豊かな川と
して次世代に送ることができ
るはずだとの決意を新たにし
て会を閉じています。

私たちができることから

川沿いに住む私たちが、一
日どっぷりと安田川に入って
泳ぐ、竿を握るといふことが
少なくなってきた。昔
のアユはもっと大きかったぞ！
と自慢げに語っていた父親た
ちの話を思い出します。初め
てアユ釣りを経験した子ども
のころ、アユのビシヤ・ビシヤ
と飛び跳ねる感覚や、あの引
きの強さは「命の躍動感」と
して心に残っています。

楽しいけれど、少しでも油
断すれば危険な目に遭遇し、
いくら慣れていても川は私た
ちの予想を超えるものです。

だからこそハラハラ・ドキド
キが続き、自然に対し謙虚な
気持ちにもなれると思います。
川は楽しい、川を守ってい
かなければという思いから、
たとえば廃食油のリサイクル、
石鹸の利用、EM菌の活用な
どのさまざまな取り組みも行
われるようになってきていま
す。

釣り人が集い、川辺で子ど
もたちが楽しく遊ぶ姿が戻る
ことにより、より馬路村らし
い姿になると思われます。感
覚や感性を育ててくれるこの
環境を守るため、私たちにで
きることをみんなで真剣に取
り組んでみたいと思います。

ご長寿 おめでとう

9/11 魚梁瀬敬老会 9/12 馬路敬老会



会場では、「おらあ、はや敬老会へ呼ばれる年になったかええ笑」、「あんたあ、元気にしよったかね?」と、にこやかに話す姿が見られました。式典に引き続き行われた演芸の部は、歌あり、踊りあり、演奏ありと盛りだくさん! 保育園児、小中学生、ハミングユーズ、大正琴、日本舞踊、民謡サークルのみなさんが、お年寄りに楽しんでいただけるよう、日々の練習の成果を披露してくださいました。

魚梁瀬会場では、小中学生から一人一人に手作りのプレゼントが手渡され、たいへん喜ばれていました。馬路会場では、六月から月一回開かれているマジック教室の生徒さんが、華麗なマジックショーを披露。何も入っていないはずの袋から、ハンカチが次々と出てくるマジックに大拍手が起こっていました。また来年もみなさんの笑顔が見られますよう、これからもどうぞお元気でお過ごしください。



九月十一日、十二日の両日、敬老会が開催されました。今年度の対象者(九月一日現在で七十五歳以上の方)は、魚梁瀬地区三十七名、馬路地区百六十名であり、出席者はそれぞれ十五名と五十五名でした。

金婚式



清岡 文雄さん・勝さん ご夫妻

9月1日、第50回金婚夫婦祝福式典が開催され、本村から清岡文雄さん、勝さんご夫妻が参加されました。晴れて金婚式を迎えられましたお二人に、お話を聞きました。

「五十年という年月を、苦楽を共にしながら二人で歩んでこられたこと、そして、五十回目の金婚式に元気で出席できたことは、本当に幸せに思います。言葉では言い尽くせないようないろいろな辛いこともありました。うれしく喜ばしいこともたくさんありました。今は、孫たちにたくさんのお楽しみ、生きがいをもたらしています。それは、二人の毎日の元気の源にもなっています。これからは健康に気をつけながら、少しでも家族の助けになるように、自分たちでできる農作業を無理をせず、の

んびりとしていくつもりです。そして、ゆったりとした時間を、二人でできるだけ長く重ねたいと願っています。」
先日、清岡さんを訪ねた時は、お二人でゆず畑の草刈り作業中でした。これからも、どうぞ末長くお幸せに。

第27回馬路おしどりマラソン大会



九月十六日、第二十七回馬路おしどりマラソン大会が開催されました。七つの県から参加したご夫婦は村内十三組を含む百十五組（三ヶの部九十六組・五ヶの部十九組）。「順位を競わず親睦を深める」という趣旨どおり、お二人が終始そろって走り、ゴール前では仲良くつないだ手を大きくかかげる姿が多数見られました。全員が走り終えた後、ベストおしどり賞などの特別賞が決定され、連続出場賞とともに選手に贈られました。

大会開催にあわせて行った走路の草刈りや清掃、雨の中での鼓笛隊演奏、応援など、村内の皆さまのご協力によって、選手皆さまから「気持ちよく走ることができました」という声をたくさんいただきました。



裸の付き合い復活



再開を喜びあう

今年四月から休業していた魚梁瀬森林保養センターが、八月十二日に魚梁瀬森林保養センター「やなせの湯」として新たにオープンしました。

魚梁瀬森林保養センター「やなせの湯」

有限会社魚梁瀬資源開発（代表取締役・湯浅雅喜氏）を指定管理者とした新たな試みです。今年一月に源泉の供給がストップしていましたが、馬路から温泉を分けてもらい魚梁瀬まで運搬するという形で復活が実現しました。魚梁瀬の集落の入口に位置する丸山公園内のこの施設は、休館中、「魚梁瀬の灯が消えた気がする」、「なんとか復活してほしい」などの地区からの強い声により、今回の再オープンを迎えることができました。当日は、馬路温泉でも好評

問
魚梁瀬森林保養センター
やなせの湯
☎43-2240

のアロマトリートメントをはじめ、木工教室や地元の劇団杉ぼっくりによる歌謡ショーやマジックショー、ビアガーデンも行われました。お客さんに満足してもらえよう、魚梁瀬丸山公園の各施設が一体となった取り組みなど、さらに集客に努めたいとスタッフは意気込んでいます。地域では社交の場として期待を高めています。

熱心に勉強

「食と健康」事業から



なるほど、なるほど

社会福祉協議会では、健康ほっとサロンの方や東川、相名地区の介護予防事業に参加している二十九名の方々とともに、高知学園短期大学の「食と健康」事業に参加しました。この事業は、「高齢者の自立と健康につながる食を考える」をキーワードに、馬路村、大川村、旧西土佐村の三カ所で昨年度から行われている事業です。主に各地域における高齢者の食事の取り方やその内容を考えるとともに、想定される病気について勉強しています。今回は学生さんにカルシウムを多く含んだ食事を作ってもらい、参加者全員で食べました。午後からは、骨粗鬆症の話と口腔ケアについての健康講話を熱心に勉強しました。参加者からは「高齢者向きの食事で薄味だろうと思っていただけでもおいしかった」との声も聞かれ好評でした。十二月中旬に二回目を予定しています。



地震災害に備えて 馬路村防災訓練

8月30日から9月5日までの防災週間にあわせて、馬路村でも9月2日快晴の中、馬路地区の自主防災会を主体とした防災訓練が行われ、約100名の村民が参加しました。

ちょうど、影地区に解体撤去が予定されていた村営住宅がありましたので、倒壊家屋に見立てて救出方法の模索や、救出後の応急処置について学ぶ機会を得ることができました。

倒壊家屋からの救出

前もって家屋に人形を入れて倒壊させました。

すると、人形は完全に見えなくなっていましたので、実際に倒壊した現場では、人間が被災している、いないの判断は非常に難しくなると強く感じました。

当日は、自主防災会と馬路消防団が合同で、倒壊家屋から人命を救出する手順を検証しました。

最初に声かけを行い、人形の場所を確認し、屋根と側面の壁の両方からの進入を試みました。屋根から進入すると、瓦や天井板、ふすまなどが重なって倒れていて、作業が難航しましたが、側面からは、意外とやすく救出できました。しかし、いずれの場合も余震などで二次災害が起きる可能性も懸念されますので、その場の状況によって対処の方法を考えなくてはなりません。



負傷者の応急処置

また、中芸消防署救急救命士の指導により、骨折や出血の状態にある負傷者を想定した応急手当の講習を行いました。

被災地では救護物資が不足するため、骨折の場合は、周りにある木板をギブス代わりに固定し、止血はタオルなどを傷口に直接当てた上から圧迫することなど、参加者には、大きくうなずきながら聞いている方が多く見受けられました。

「何回も聞いて知っちゃう」ではなく、『何回も聞きちょっときできた』となるように訓練は繰り返して行うことが大切ですので、今後も関係機関と連携し、防災訓練を行っていきます。



馬路村の歴史と伝説



山中 巖

〈通算第130回〉

私たちが青少年時代を思い出すと、道端の竹やぶで狸が目を輝かせていたし、夜間用務のため朝日出や東川などへ行く途中、狸に「ここにいますよ」と小砂を投げられたこともたびたびあった。山の畑では、山鳥が木のもとで卵を温めていたし、草むらの中ではウサギが子どもをかえして親子数匹が飛び出してきて驚かされたこともあった。

一 天狗(てんぐ)

馬路の河平地区周辺は、平重盛の家臣、河平兵衛守がおさめていた。谷川には道もな

い滝つぼがいくつもあ

二 山姥(やまんば)

魚梁瀬地区と安芸市との境に稗己屋山がある。南に天狗

森、北東に千本山、宝蔵山が並んでいる。

ていた)。この木地師が作る稗はたわわに実り、刈っても刈っても豊作で山小屋は

木を伐りに行って山小屋に帰った木地師は、窓から小屋の中をのぞいた。中で白髪を振り乱した老婆が俵に稗を入れている姿を見た。「たれか」

木地師は声をあらげた。老婆は空を飛ぶように消えた。

村の故事・俗信

13

三 イキアイニアウ

山などへ猟や仕事に行つて、木をたたく大きな音を聞いた

人々は「イキアイニアウ」

祈禱をしてもらったりした。

四 人魂(ひとたま)

もう昔のことで、年月は忘れたが、伊吹先生(村医)が影の清岡宏敏さん宅の隣に村

馬路城の跡(約三百年前は城の丘とよばれた)でちかちか

それほど速くはない。

ふと昔聞いた話を思い出した。



「コビ」

と呼ぶと呼んだ人の足元にき

ばざったと。

五 火玉(ひだま)

この火玉は、大きさは茶碗くらいであった。火玉を見た時は、お寺(金林寺)がまだ旧



約七十年くらい前の宵、初夏のころ、日浦の天王の西の山から墓場の上をこえて、営林署の貯木場、安田川の上へと、飛ぶのに速いこと。

影の城山の中腹へ入つていった。

注 天狗の絵馬

牛若丸が天狗から剣術を学ぶ免許普伝を受ける(鞍馬山絵馬は馬路村の某所に存す)



キャリア教育をすすめる

～生きぬく力を育てる～

馬路村の教育の中核として位置づけられたキャリア教育。この教育は子どもたちが「生きる力」を身に付け、社会の激しい変化に流されることなく、それぞれが直面するであろうさまざまな課題に柔軟にかつたくましく対応し、社会人・職業人として自立していくことができるようにするためのものです。

馬路小学校



地域の一員に

二十七回目を迎える「おしどりマラソン」。馬路小学校の鼓笛隊は、第一回から参加しています。

新しい年度が始まると、演奏曲目を選定し、一学期から練習が始まります。今年の演奏曲目は「ドラムマーチ」「汽車の旅」そして、新しい曲「宙船（そらふね）」の三曲。一・二年生は、タンバリン、鈴、カステネットの打楽器、三年生以上は、メロデオンや大・中・小太鼓などを担当しています。最初はパートの練習に始まり、合同練習へと毎日毎日、身体がリズムを覚えるまで繰り返し練習します。

この鼓笛演奏の発表の場は、おしどりマラソンと合同運動



会。村の行事に村民の一人として役に立つこと、また地域の行事を知る機会にもなることをねらいとしています。これはキャリア教育でつきたい力の、人と関わることや仕事を理解することにつながります。

おしどりマラソンに参加している方々から、鼓笛演奏を楽しむにしているという声をいただきます。このことは、子どもたちにとっても、行事を盛り上げることに役立っているという励みになります。

学校が継続して鼓笛演奏に取り組んでいることは、県内でも大変珍しいことです。今後、児童数が急激に減少していきますが、この伝統ある馬路小学校の鼓笛演奏が、消えることがないことを願っています。

馬路中学校

馬路村を学ぶ

今年もキャリアアドバイザーの方による講話学習の1回目を実施しました。

これまでのキャリアアドバイザーでは、さまざまな失敗や挫折を乗り越えて成功につなげた方や、安定した生活だけに価値を見いださず、幼い頃からの自分のやりたかったことや夢の実現を成し遂げた方などをお招きし、広い意味で夢の追求や生き方につながるお話をしていただきました。

そこで今回は、馬路村の未来を担う立場にある中学生として、今のきびしい社会の中で、馬路村の立場の現状と、これまでの馬路村の努力や今後の課題を自分たちの現実問題としてとらえていくための取り組みにしました。そして、これまでの取り組みの現状をもっとも把握している上治堂司村長を迎えて、役場と村内企業の現状、これまでのあゆみや取り組み、さらには今後の課題について学習しました。

成功につなげるためには、それなりの戦略や見通しが必要であるというお話や、「何

もしなければ失敗もないけれど、成功することもない」「じりじり衰退するより、失敗も覚悟で積極的に取り組みを進めた方が悔いが残らない」など村のこれまでの取り組みを通して、村の存続や発展についてだけでなく、個人としても、これからの生き方をどのようにするか、考えるよい機会となりました。



キャリアアドバイザーの方たち

魚梁瀬小学校

地域産業にふれる

将来を考え、未来図を描くことができるよう、地域の仕事や産業を理解する力を育てるための学習を総合的な学習の中で行っています。

五・六年生は、「地域の産業について調べよう」と、魚梁瀬地区の歴史的な産業である林業について調べ、体験しようという活動に取り組んでいます。

そこで、栢山逸男さんを講



栢山さんのお話を聞く5、6年生

師に迎え、「林業（山の仕事）現在と昔」と題した話を聞く機会を設けました。

子どもたちには、知らない話が多く、昔の林業の大変さを知り、今の林業の機械化におどろいていたようです。

三・四年生は、「カントリーくま工房」を経営している林政博さんに杉材を使った箱作りを習いました。

この日は、事前に箱側面のデザインを考え、林さんに切り取ってきてもらったものを組み立てました。制作を通して「木の粉があんなに出ると思わなかった。粉の中でずっ



自分だけの箱ができた

と仕事をするのがすごい」「ねじが硬くて難しい。まっすぐしているつもりだけれど、まがる」「デザインとそっくりにできてうれしい」など、作品を作るうえでの大変さや出来上がったときの喜びを肌で感じる事ができました。

家具製作では、デザインを考えるところが、おもしろくもあり大変なところだそうです。「子どもたちのデザインはそれぞれ個性的で切っていて楽しかった」と林さんの感想です。



魚梁瀬中学校

今年のお弁当

お弁当作り

目標は、十一月の職場体験学習の時に、自分で作ったお弁当を持っていくことです。

お弁当作りには、仕事の段取りや分担・協力、手際よく片付ける作業などキャリア教育でつきたい力が満載です。

五月から、月に一回のペースで家庭科の時間に実施しています。毎回、カローリや味・栄養のバランス、色どりなどを考え、三百円程度でできるメニューを工夫しています。

簡単に作れ、おいしいと生徒たちにも好評で、「次はい



厚焼き卵作りに挑戦



つ？」と心待ちにしている生徒もいます。

また、七月の給食のない日には、友だちどうしで約束し、それぞれが作ってきたお弁当を木陰で楽しそうに広げる三人の姿も見られました。

十月には馬路村農協の「ゆず一家」を使ったちらし寿司を作り、曲げわっぱ（七月の地域住民参観日に四国勝さんのご指導により制作）に入れる予定です。



お互いのお弁当を交換して楽しむ

国民健康保険医療費の状況



前回の広報うまじ（第236号）において、国保税について掲載しました。そこで、今回は医療費の状況を中芸地区の比較という形でご説明します。

●医療費の状況

	1件当たりの費用額 (円)					1人当たりの費用額 (円)				
	入院	入院外	歯科	調剤	計	入院	入院外	歯科	調剤	計
奈半利町	429,777	15,819	18,883	14,361	37,850	209,790	176,897	22,019	77,155	485,861
田野町	458,021	15,667	16,712	14,177	40,260	202,381	157,678	21,327	92,982	474,369
安田町	433,411	14,080	15,949	13,854	38,443	218,687	150,226	24,767	95,568	489,249
北川村	408,119	15,582	19,097	13,917	34,711	179,151	189,330	23,781	87,947	480,209
馬路村	460,854	17,725	17,164	13,463	40,330	307,890	237,659	26,587	58,036	630,172

上の表は、平成17年度の国民健康保険医療費（中芸地区）の状況です。

表の数値をみるとわかるように、1件当たりの医療費は町村間で大差ありません。

しかし、1人当たりの医療費は、他の4町村が48万円前後であるのに対し、馬路村では63万円と高くなっています（この金額は高知県内全市町村で2番目に高い金額です）。

この主な理由としては、入院の費用額が他の町村に比べ高額であることから、ついつい病気をこじらせるなどして、長期にわたり入院加療しなければならない被保険者の数が多いのではないかと考えられます。また、入院外の費用額からは、定期的な治療が必要な持病をもっている被保険者も多いように見受けられます。

健康づくりに向けて



病気になってしまうと、医療費や国保税が高くなることよりも、むしろ本人が健康面でつらい思いをします。

平成19年度の国保事業として、健康体操（3B体操）教室を開催しています。簡単な3種類の用具を使って、小さな子どもさんから高齢者の方まで、幅広くどなたでも楽しめる体操です。開催日は有線放送でお知らせしますので、ぜひおこしください。また、健康福祉課では食生活の改善や日常の生活に運動を取り入れるなど、健康づくりに向けた取り組みを行っています。自身の健康を維持するためにも、積極的なご参加をお待ちしています。



就業改善センター2階
で3B体操をしている
皆さん





ふるさと への便り 26

馬路村の皆様、お元気ですか。平成十五年四月から十八年三月まで馬路村役場産業建設課に勤務させていただいた坂田です。

十八年四月からは、第二のふるさと馬路村を離れ、北海道森林管理局で、森林ボランティアやNPOなどの皆様と森林再生に取り組み一方で、馬路村応援団北海道支部長として、馬路村と村製品の宣伝に励んでいます。

馬路村は、人口千百人ほどの小さな村ですが、大きな都市がなくしてしまったものがたくさん残っていますし、他の多くの町村にはないエネルギーと、全国の馬路村ファンの方々が可愛がってください素晴らしい村です。

— そんな馬路村では家族ともども、他ではできないようなさまざまなことを経験させていただきました。東京育ちの子どもたちは、クワガタムシ

やカブトムシを触ることができるとなりました。

また、自慢の柚子はもちろんのこと、鮎、ウナギ、松茸、猪、自然薯など山々と川がもたらす季節の恵みを堪能し、馬路村の文化に触れ、村内外の人たちと森林ボランティアとして杉人工林の間伐に携わるなど楽しい思い出がいっぱいです。これからも山々と川を守り、次代へ引き継いでいってください。

▼家族で自宅前にて



北海道札幌市
坂田 康治さん
(相名)

楽しい思い出

フォト人 ウォッチング 42

林 政博さん・久美子さん(魚梁瀬)



森の家具作家

— カントリーくま工房 —

魚梁瀬で少し変わった家具が製作されているのを皆さんご存じですか。お二人は、昨年八月に、魚梁瀬の山村留学制度で、小学生の子ども二人と、大阪から移り住んで来られました。

家具の名前は「カントリー家具」といいます。和風の家具にはない異国情緒あふれるポップでかわいらしい家具を、ご夫婦で協力して製作しています。

大阪では松を材料に使っていましたが、魚梁瀬に来てからは地元の木に変えてチャレンジしています。村で製造した丸棒も使うことにより、よりいっそうオリジナリティーのある家具となっています。



一つ一つが手作りなので同じものが二つとなく、お客さんからのオーダー(特注)にも応じており、購入された方々の評判は上々のようです。

また、販売についてはインターネットオークション販売でしていて、気に入った家具の値段はお客さんが決めるというスタイルも大変おもしろい。インターネットを使っているのも、今まで北は北海道、南は沖縄県の方から注文をいただいたそうです。この取材の日も、まだ見ぬ主人を待つカントリー家具が工房の一角に並べられていました。

お二人に魚梁瀬の印象を聞くと、「人が良く、田舎だが集落が密集していて、歩いて事が済むし、とても住みやすいところだ」と言っていました。また、地域での役割や活動などの話を聞いたところ、「雇用の場の少ないこの魚梁瀬で私たちのようにインターネットを使った生計の立て方もあることを広めていきたい。そしてまだまだ色々なことにチャレンジしていきたい。これから山村留学などで移り住んで来られる方へのヒントになれば」と話してくれました。

大阪から来た元氣な家族は、魚梁瀬の人々の暮らしにちよっとした刺激を与えてくれています。



るな
大野 瑠菜 さん(魚梁瀬)
平成19年1月10日生
(保護者 大野一幸・美穂さん)

はじめまして。瑠菜です。ルナは「月」を表す言葉だそうです。私は馬路と魚梁瀬の両方のおじいちゃんの誕生日に生まれました。最近はずっとしているのがいやで、ハイハイで動きまわって遊んでいます。いつもお世話話をしてくれる菜月お姉ちゃん、早く大きくなって、一緒にいっぱい遊びたいです。お姉ちゃんとお父さんにそっくり？な私を、これからもよろしくね。



こはる
小松 心晴 さん(相名)
平成18年7月31日生
(保護者 小松宇宙・夕湖さん)

はじめまして。小松心晴です。よく「春に生まれたの？」と聞かれますが、私は夏生まれです。心晴という名前は、やさしい子に育つようにと、パパとママがつけてくれました。お散歩や水遊び、本を読んでもらうのが大好きです。最近パパがお散歩に連れてってくれるのでうれしいです。特技はダンスです。大好きな曲がかかると踊ってパパとママを喜ばせます。よくお散歩しているので見かけたら声をかけてくださいね。

赤ちゃん万歳
パパ・ママとっしょ



馬路村俳壇

- | | |
|--|-------|
| 初秋の足音あとから従っていくる
釘打つも孫に負けをる時計草 | 山崎喜久子 |
| 秋の蝶主 <small>あるし</small> を連れて逝きにけり
虫声や佛飯たかく盛りにつけり | 中屋 良子 |
| こだまして運動会の応援歌
息合わせ權をひとつに筏舟 | 島田 朝彰 |
| 秋風や声のもどりし運動場
震災忌非常のかんばん取り替える | 高芝 栄子 |
| 食欲の秋に痛むな親知らず
秋晴れや心ひきしめ民営化 | 山崎 裕之 |
| 送迎の窓によりくる彼岸花
子はおし秋刀魚分けあう二人かな | 島田 智香 |
| 鼻たれの棒でなぎゆく彼岸花
旧姓で呼ばれる里や水の澄む | 山本 美幸 |
| 残り蚊の羽音をさがす手をひろげ
赤銅に欠けゆく月や風の立つ | 氏原 淑 |
| 山低しぶどう畑の張り付くも
渡し場は戸板三枚鱒 <small>ほち</small> はねる | 池 蘭子 |
| 月蝕がすすむ麦酒 <small>ビール</small> の泡のなか
いしぶみのほめきもすでに蝉の秋 | 東谷 晴男 |



カールの

フォト
エッセイ

⑬

外国語指導助手 カール・レイフ・エリックソン
(アメリカ合衆国ミネソタ州サークルバインズ 出身)

「夏休み」

ああ、今年はとても早く夏休みが過ぎてしまった!みなさんは、友達や家族と色々な活動をしたり、おいしい食事を楽しんだりして、素晴らしい夏休みを過ごされたことと思います。

僕は今年の夏休みにアメリカへ帰ることができてすごくラッキーだった。今回の記事では、アメリカの生徒の夏休みのことを少しと、ミネソタに帰省した僕の夏休みについて書こうと思う。



左から
母、シェイナ(義姉)、エリック(兄)、アンニャ(めい)、父、僕

アメリカの生徒や先生は長い夏休みを楽しんでいる。実際、アメリカの夏休みはほぼ3カ月あり、夏休みの始まりはアメリカの学校の一年の終わりでもある。次に生徒が学校へ来るのは、新学年の始まりだ。事実、アメリカでは夏休みの間、学校は閉鎖されている。だから、学校の活動も宿題もない。生徒は学校生活から離れ、自分が



親族とのバーベキュー

望むことをしたり、親が楽しませたいと思うことをしたりして、夏休みをエンジョイしている。学生の時のことを思い出してみると、僕は親戚の農場(クリスマスツリーの栽培)で働いたり、友達と遊んだり、魚を釣ったりして楽しんでた。

宿題のない3カ月

ええと、僕は今はもう学生ではないが、ラッキーなことにALTであり、さらにラッキーなことに母、兄、そして兄の奥さんも教師である。だから、アメリカへ帰省した時、僕は家族みんなで夏休みを一緒に楽しむことができたのだ。

今年の夏、僕は家族とミネソタ州の僕の家からウエストアメリカへ旅をした。それはとても長いドライブで、15時間ぐらいかかった。だけど、とても価値のあるものだった。



大きなトラウトを釣って喜んでいる父

美しい自然の中で、たくさんのアウトドアの活動を楽しめた。僕は、ウエストアメリカのものすごく大きくて、ひろびろとした景色に驚かされた。それは高知とはまったく違った風景だった。夏休みに僕が一番楽しかったことは、父や兄とフライフィッシングをして、大きなトラウト(サケ科の魚)を釣ったことだ。

また、この夏、僕は親戚一同(祖父母、叔父、叔母、いとこ、おい、めい)みんなに会えたことがうれしかった!久しぶりに家族全員に会えたことは、本当に素晴らしいことだし、兄の子ども(アンニャ)に初めて会えたこともとてもうれしかった。このことは、家族の存在が僕にとってどれだけ大切かっていうこと、家族が僕にとってどれだけ意味があるかっていうことを改めて気づかせてくれた。



アンニャ39カ月

今回はここまで。繰り返しになるけれど、みなさんが素晴らしい夏休みを過ごし、友達や家族と楽しい時間を持てたことを願っています。

バイバイ。カールより

10月・11月 むらの行事予定



10 月	
1	月
2	火 絵本のよみきかせ(多目的施設)10:30~11:00
3	水
4	木
5	金
6	土
7	日 おらが村・心臓やぶりフルマラソン大会
8	月 体育の日
9	火 絵本のよみきかせ(交流センター)10:30~11:00
10	水 魚梁瀬子育て支援教室(多目的施設)10:00~10:30
11	木 地震避難訓練(魚小)、3・4年生昔体験(馬小) 安芸郡市秋季中学陸上競技大会、馬路子育て支援教室(交流センター)10:00~11:30
12	金 行政相談(多目的施設)10:00~12:00 人権相談(多目的施設)10:00~15:00
13	土 湯けむりピンポンin馬路(馬路温泉)
14	日 日曜参観日(モグモグモーニング6年生)(馬小)
15	月
16	火
17	水 第27回魚梁瀬地区はし拳大会
18	木 魚梁瀬熊野神社大祭(~20日) こどもの文化浴事業(就業改善センター)10:30~11:30
19	金 乳幼児健診(田野町保健センター)13:00~受付 魚梁瀬古式弓射式、ふるさとまつり(~21日)
20	土 高知馬路会 わくわく科学教室(就業改善センター)9:30~12:00
21	日
22	月
23	火
24	水 馬路村合同学習会Ⅱ期
25	木
26	金
27	土 馬路保育所運動会
28	日 魚梁瀬地区村民運動会 日曜参観日(馬中)
29	月 犬・猫ひきとり 空き瓶回収(魚中)
30	火 遊々の森での植樹(魚中) ハロウィン(馬小)午後
31	水 馬路地区PTA役員会

11 月	
1	木
2	金
3	土 ゆずはじまる祭り 安芸郡市中学駅伝競走大会 文化の日
4	日 山師達人選手権大会
5	月 職場体験学習(馬中・魚中)(~9日)
6	火
7	水
8	木
9	金 高知県知事選挙告示
10	土 行政相談(就業改善センター)10:00~12:00
11	日 魚梁瀬の自然体験と温泉観光ツアー
12	月
13	火
14	水 魚梁瀬子育て支援教室(多目的施設)10:00~11:30 絵本のよみきかせ(多目的施設)10:00~10:30、自由参観日(馬小)(~16日)
15	木 参観日(魚小)午後
16	金 乳幼児健診(田野町保健センター)13:00~受付
17	土 ゆず収穫・わらじ編み体験ツアー(~18日) 協働の森・損保ジャパン間伐体験
18	日
19	月
20	火 袖子とりボランティア(馬中)
21	水 交流学習(1・2年生) 馬路子育て支援教室(交流センター)10:00~11:30
22	木 合同社会見学(3・4年生)
23	金 勤労感謝の日
24	土
25	日 高知県知事選挙投開票日
26	月 犬・猫ひきとり
27	火 絵本のよみきかせ(交流センター)10:30~11:00
28	水
29	木
30	金 3歳児健診(北川村保健センター)13:00~受付

人口 月中異動	増 加				減 少				月末現在 人口合計
	出生	転入	職権	計	死亡	転出	職権	計	
8 月	1			1	3	3		6	1,113
9 月					1			1	1,112

馬 路 541人、362世帯
魚梁瀬 571人、126世帯
馬路村特別村民 2,373人
(9月30日現在)



村内あちらこちら



8月15日 馬路納涼祭



9月7日 見本市「メゾン・エ・オブジェ」(フランス)



9月22日 パッチワーク教室



9月23日 魚梁瀬保小中合同運動会



9月28日 中学校中芸地区陸上競技大会

村のできごと

8月

- 1日 中芸地区小学校水泳記録会(奈半利小)
- 4日 平家の落人キャンプ(魚梁瀬子供会)
- 8日 ベビーマッサージ講習(～9日)
「全国木の作品フェスティバル」
(阪神百貨店)(～13日)
- 10日 人権・行政相談(多目的施設)
- 12日 「やなせの湯」再開
- 15日 馬路納涼祭
- 18日 夏休み絵本づくり教室(～19日)
- 20日 マジックディナーショー(馬路温泉)(～21日)
- 22日 馬路・魚梁瀬保育所交流会
- 27日 校長先生の出前講座(多目的施設)

9月

- 1日 パッチワーク教室開講(～22日)
- 2日 地域のみんなで自主防災訓練
ピアノコンサート(就業改善センター)
- 7日 見本市「メゾン・エ・オブジェ」(フランス)
- 11日 魚梁瀬敬老会
- 12日 馬路敬老会
- 16日 第27回 おしどりマラソン大会
- 17日 写真撮影教室(就業改善センター)
- 21日 秋の交通安全運動(～30日)
- 23日 馬路保小中大運動会
魚梁瀬保小中合同運動会
- 28日 中学校中芸地区陸上競技大会
- 29日 わくわく科学教室

編集後記

今回は、少し環境のことにふれてみました。私自身このごろは、川に入って漁をしたり、山に登ってみたりと自然にふれる機会が少なくなっています。水や土にふれあいながらどう変わったのか?どこが漁のポイントなのか?と敏感に感じるものがなくなりました。

まず、川へ山へと自然にふれることから始めてみたいと思います。(丁)

編集発行 ▶ 馬路村教育委員会

住所 〒781-6201 高知県安芸郡馬路村大字馬路443
TEL 0887-44-2216 FAX 0887-42-1010
E-mail address umaji-v@kochinet.ed.jp

印刷 ▶ 高知印刷株式会社